

松阪仏教愛護園 幼年消防クラブ

三重県社会福祉法人松阪仏教愛護園

園長 梅森 文馨



自治体消防70周年事業において、松阪仏教愛護園が表彰していただきました。誠にありがとうございました。

当園は昭和から平成に変わる、前々園長の折、幼年消防クラブが結成されました。平成5年には、マーチングの楽器・大太鼓や小太鼓等一式を頂き、本格的に諸行事、イベントに参加するようになり、今でも松阪地区防火協会から要請があります各種イベント等に毎年参加させていただいております。

当園は大正13年創立の保育園で、令和6年には百周年を迎えます。創立の頃は仏教会の運営で、保育の中に毎朝のおまいりを入れ、命の尊さを伝え現在に至っています。

幼年消防クラブの活動の一番の目的は、火災等災害で犠牲になる子をなくす事と考えます。次世代を担う子どもたちの命を守ることが最も大切です。そのためには災害から身を守る毎月の避難訓練は欠かせません。

子ども達に火災や地震、風水害から身を守り、避難すること、不審者対応等の防災意識を持たせるよう取り組んでいます。

幼年消防クラブで活動する子ども達は、主に4、5歳児ですが、イベントに参加する前の練習を見て、次年の子ども達は憧れを持って見えています。演技の最後には「防災の誓い」の言葉を言います。「ぼくたち、わたしたちは、火あそびをしません」火の用心の合言葉です。



日上市河原子 少年消防クラブ

茨城県日上市河原子少年消防クラブ

指導者 佐藤 弘文



河原子少年消防クラブは昭和59年12月に結成し、クラブ員は最多で40人が在籍した時もありました。しかし、少子化等の影響もあり、現在クラブ員は15人ですが、火災のない明るい地域のため活動しております。

また、クラブの活動拠点でもある河原子地区は、県内でも有名な海水浴場があり、夏には多数の観光客が訪れます。そのため、昭和60年から毎年7月には火災予防啓発を目的として町内の防火パトロールを実施しており、パトロールにはクラブ員のほか、地域コミュニティ関係者、消防団員及び管轄の消防署も参加して、火の用心を訴えながら「拍子木」を元気に打ち火災予防の広報をしています。

毎年12月には明るく住みよい町づくりの一環として、地域の関係団体とともに防災・防犯・青少年育成・交通安全のための地域パレードに参加し、地域にも貢献しています。

また、活動の一環として消防関連の研修会を開催し、座学（火災について、消防署の仕事）、体

験学習（消火器の取り扱い、放水体験、救助隊訓練体験、消防車両の乗車体験）、応急手当研修、防災関係施設見学等を行っています。

今後も、火災予防に関する知識の普及を図り、また、将来の地域防災リーダーとしての役割を發揮できる人材を育成するためにも研修を積み重ね、クラブ員と地域が協力しあい活動をしていきたいと思っております。



保護者を含め三角巾使用方法の研修